

授業科目名	リハビリテーション入門
-------	-------------

授業の概要	疾病により障害を受けた後、リハビリテーションがどのように行われるかを知り、障害を持ちながらもより良く生きて行くことに必要な知識を学ぶことを目的とする。
授業の目的	リハビリテーションの基礎を理解し、障害の特性や医療・社会資源の活用方法を学び、患者の生活の質（QOL）向上に貢献するための基礎的な知識を習得する。
授業の到達目標	1) リハビリテーションの概念と重要性を説明できるようになる。 2) リハビリテーションに関わる多職種の役割を理解し、協働の重要性を説明できるようになる。 3) 主要な疾患別リハビリテーション（脳血管障害、運動器疾患、呼吸器疾患、心疾患など）の概要を理解できるようになる。 4) 人の体や老化について学び、医療を実践するための基礎を身につける。
卒業認定・学位授与の方針との関連性	・DP1：知識・理解、DP3関心・意欲に該当する。DP4：態度に一部該当する。
授業の計画と内容	この授業はすべてオンライン授業で行う（オンデマンド 資料配信型） 第1回：オリエンテーション、リハビリテーションとは 第2回：リハビリテーションはなぜ必要か 第3回：リハビリテーションに関わる医療職種 第4回：人間の身体を見てみよう 第5回：五感から考える年をとること 第6回：レポートの書き方 第7回：身近なリハビリテーション①脳血管障害リハビリテーション 第8回：身近なリハビリテーション②運動器リハビリテーション 第9回：身近なリハビリテーション③呼吸リハビリテーション 第10回：身近なリハビリテーション④心臓リハビリテーション 第11回：身近なリハビリテーション⑤高次脳機能障害のリハビリテーション 第12回：身近なリハビリテーション⑥摂食嚥下リハビリテーション 第13回：身近なリハビリテーション⑦小児のリハビリテーション 第14回：身近なリハビリテーション⑧その他のリハビリテーション 第15回：まとめ 定期試験（レポート課題）

教科書

書名	著者	出版社	ISBN	備考
リハビリテーション基礎からナビゲーションーリハビリテーション関連医療職をめざすあなたに	橋詰 直孝(監修)、丸山 仁司(監修)、川手 信行(編)、秋山 純和(編)、齋藤 信夫(編)、栗山 明彦(編)	第一出版	9784804113753	出版年:2017 金額(参考):2530

参考書

成績評価の方法	・成績は、レポート課題(50%)と毎回授業後に行う小テスト(50%)で評価する
成績評価の基準	到達目標の1)～4)を満たすことができる
フィードバックの方法	・試験のフィードバックは本人の申し出によりメールなどを用いて実施する
授業時間外学修	事前学習：テキストの該当頁を熟読（90分） 事後学習：授業配布資料とテキスト該当頁に関する復習（小テスト・レポート課題を含む：90分）
実務経験のある教員の授業内容	
その他	